

2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（－：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (東北)	◎	－	－
	○	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスに慣れて消費が動くともみている。
	○	百貨店（営業担当）	・ウィズコロナの定着がみられ、市内中心部のイベント再開で県内外からの来街増加も見込まれることから、来客数は増加に転じると想定される。
	○	百貨店（買付担当）	・月末の売出しは比較的好調で、季節の変わり目とともに幾分購買意欲は高まってきているような感じがある。得意客がメインになるが、衣料品のまとめ買いも出てきており、少し上向き傾向にある。
	○	百貨店（経営者）	・ワクチン接種者も更に増え、来客数も少しずつ戻るとみている。一方で、原油価格高騰などの影響による価格転嫁で、節約志向が増えていくと、再度消費マインドが冷え込む可能性も否定できない。
	○	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルス感染症新規感染者数の増加に歯止めは掛かっていないが、当面は単価の増加が見込めるため、販売微増が続くと推測される。
	○	コンビニ（経営者）	・3回目のワクチン接種が進んでいるので人の動きが良くなり、来客数が増加するとみている。
	○	コンビニ（エリア担当）	・まん延防止等重点措置の全国一斉解除による人流増加に期待している。コロナ禍次第ではあるが、盛夏に向けて来客数の増加にも期待している。
	○	コンビニ（エリア担当）	・政府の新型コロナウイルス対策も緩んできているなかで、春の行楽に向けて人の動きが活発化することが予測できる。このまま新型コロナウイルスの新規感染者数が減少していけば、景気の回復も見込める。
	○	コンビニ（エリア担当）	・まん延防止等重点措置が解除されたこともあり、ウィズコロナに人々が慣れてきている。
	○	コンビニ（店長）	・気候も暖かくなり、桜も咲き、消費者の気持ちも上がってくるといふ希望的観測から、徐々に上がっていくとみている。
	○	衣料品専門店（経営者）	・暖かくなれば灯油の消費量も抑えられる。また、今よりは開放的になり出掛けようという気持ちも出てきて、購買意欲につながるとみている。
	○	衣料品専門店（経営者）	・3回目のワクチン接種が行き渡れば、少しずつ景気回復してくると予測する。
	○	衣料品専門店（店長）	・ビジネスマンの出張など出掛ける人が増えてきて、例年どおりになりつつある。出張が増えれば、スーツの新調なども出てくるため、リモートオンリーの社会でなくなれば、我々の業界も少しずつ潤ってくるとみている。
	○	衣料品専門店（店長）	・4回目のワクチン接種を進めるといふ発表など、ウィズコロナに向けて前もって対策が打ち出されており、消費者も気を付けながら日常を取り戻す消費行動をとる人が増えてくると予想できる。
	○	乗用車販売店（従業員）	・ガソリン代がかなり高くなっている。新型の軽の電気自動車が出るので少し上向くとみている。
	○	乗用車販売店（従業員）	・新型車の発表も控えており、それに向けた活動で良い情報も出てきている。納期も徐々にではあるが回復している。
	○	その他専門店 [食品]（経営者）	・新型コロナウイルスオミクロン株が収束し、Go To Travelキャンペーンなどの消費意欲向上対策が再開する見通しである。
	○	その他専門店 [白衣・ユニフォーム]（営業担当）	・前年はファン付きの作業服が非常に好調だったが、今年はそこまで動くかは分からない。暑い夏になるのか冷夏になるのかでも大分変わってくる。ここ2年間の買い控えなどが少しずつ解消されていくとみているので良くなると期待している。
○	その他小売 [ショッピングセンター]（統括）	・新幹線が復旧することにより人の流れが変わってくれば、売上の伸びも期待できる。	
○	一般レストラン（経営者）	・当地は観光地ということもあり、新型コロナウイルスの感染が落ち着いてくれば観光客も戻り、客も戻ってくると期待している。しかし、原料高、材料高、戦争などいろいろなマイナス要素もある。予約は今のところ入っていない。良い方向に向かってほしいと願っている。	

○	一般レストラン（経営者）	・来客数がやや増えてきている。また、予約もグルメサイト経由、個人共にやや増えてきているが、新型コロナウイルス発生前と比べるとまだまだである。この状況がもう少し続けばかなり戻るとみている。
○	一般レストラン（経営者）	・全国的にまん延防止等重点措置が解除され、少しずつではあるがウィズコロナで外に出てくるような兆しが見える。前月、今月とずっと悪かっただけに、来月以降は多少なりとも良くなっていくとみている。
○	観光型ホテル（スタッフ）	・慣れにより、新規感染者数に関係なく客が動いてくるとみている。
○	観光型旅館（経営者）	・新型コロナウイルス新規感染者数が落ち着き、Go To キャンペーンなど支援策などがスタートすれば少し良くなるとみている。
○	旅行代理店（従業員）	・まん延防止等重点措置が適用されないことが前提ではあるが、個人旅行では春休みやゴールデンウィークといった比較の間際での申込みに加え、夏休みの申込件数も増加している。また、団体旅行では小グループから大型バス1台程度の人数での引き合いが出始めていることから、今月以上の取扱が期待できる。
○	旅行代理店（従業員）	・まん延防止等重点措置が解除されたことで、徐々にだが普通の生活に戻るため、良くなるとみている。
○	旅行代理店（従業員）	・今後、県民割の拡大や全国版Go To Travel キャンペーンの再開といった国策の拡大と、そこに起因した外出気運の醸成等により、復活をしていくものと期待する。
○	タクシー運転手	・新型コロナウイルスオミクロン株の新規感染者数が減少し始めていることに加え、新幹線の全面復旧、ゴールデンウィーク、新緑の季節といった要因もあり、人の動きが増大すると推察される。
○	テーマパーク（職員）	・新型コロナウイルス新規感染者数も減り、人々の往来が増える。自宅で過ごしていた分、観光など出掛けた際には気分が大きくなり、土産なども購入するきっかけになるとみている。
○	観光名所（職員）	・感染状況により客の動きがピタッと止まることはなくなった。客もウィズコロナ、どのように行動するかを考えながらの動きに変わってきているようである。今後はもう少し客が増えてくれば景気は回復していくとみている。
○	競艇場（職員）	・気温が暖かくなってくると外出する機会が増えるので、今以上に客足は良くなる。イベントや広告などで販売促進すれば客は集まり売上が上がるとみている。
○	美容室（経営者）	・3回目のワクチン接種が進むことにより、客の警戒心も多少は緩み、コンスタントな来店も期待できるようになる。
□	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が高止まりの傾向にある。治療薬が開発されない限り戻らないとみている。
□	一般小売店〔書籍〕（経営者）	・3度目のワクチン接種が定着していることにより、外に出て買物をする機会は増えてきている。しかし、依然として売行きが良い商材がないため、いろいろと模索しているが難しい状況である。
□	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・春に向かって化粧品や新製品が出てくることに加え、体調を崩しやすい時期なので、それに伴う滋養強壮剤の売行きが良くなると見込んでいる。新型コロナウイルスの感染状況に変化がなければ、今後少し良くなっていくとみている。
□	一般小売店〔酒〕（経営者）	・ガソリン、灯油等の価格高騰に追い討ちを掛けるように来月1日から酒類及び食品の多くが値上げとなる。客先でも値上げに関しては諦めムードが漂うなか、どこまでこの値上げが経営を圧迫するのか不安である。
□	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・国際情勢の影響で物価が全般的に上がってきている。一方、積極的な財政出動により、インフレ傾向となるのではないかと。
□	一般小売店〔寝具〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況の収束と客の購入意欲が戻ることを切に願っている。
□	百貨店（売場主任）	・新型コロナウイルス新規感染者数の高止まりや、ガソリン、食品などの物価上昇等、消費が上向き要素が見当たらない。
□	スーパー（店長）	・度重なる商品の値上げに加えて、コロナ禍が続いていることにより社会全体の景気が悪くなっている。来客数の減少も続き、客の購買意欲も低下傾向にある。

<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・新型コロナウイルス新規感染者数が思ったよりも減っておらず、客の動きに変化はないとみている。
<input type="checkbox"/>	スーパー（企画担当）	・新型コロナウイルスの影響はまだまだ続いている。食品小売業に関しては内食需要もあり、安定して売上は高水準となっている。
<input type="checkbox"/>	スーパー（営業担当）	・新型コロナウイルス新規感染者数が高止まっており、行楽での外出も現状から大きな変化は見込めないが、ゴールデンウィークのうち需要には期待感を持っている。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・相変わらず客単価や購入点数は堅調だが、人の動きに明るさがみえず、新型コロナウイルスの話題がニュースから消えるまでこの状態が続くとみられる。人出が若干戻れば、堅調が続いている客単価や購入点数から売上が順調に伸びるとみている。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・雪が溶けても、新型コロナウイルスの感染が落ち着かないので来客数は増えないし、売上も下がり続けている。リモートが定着し、自炊回帰が増えているなかで、コンビニの必要性和需要の意味を再度考える必要がある。人もいないし、利益も出ない。そのようななかで24時間、365日をやり続ける意味はあるのであろうか。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減少し、花見のシーズンに人出が増えれば来客数も増加するので、売上に結び付けたい。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（総務担当）	・まん延防止等重点措置が解除され、4月からの新年度による学生需要に期待したいが、先行きは不透明である。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（従業員）	・3月16日に発生した地震の関係で客の消費行動に変化があるとみている。家電製品の購入に関してはやや下降気味になることが予想される。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（店長）	・今回の工場ストップの影響は限定的とみられる。幸い受注のストックもある程度持って年度末に臨めるので、悲観はしていない。
<input type="checkbox"/>	自動車備品販売店（経営者）	・歓迎会なども機会が減ることが予想される。
<input type="checkbox"/>	住関連専門店（経営者）	・受注生産なので、契約したものを作って納めることになる。新たな受注を取るのが厳しい状況は2～3か月前とほぼ変わらず、受注が取れていない。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔酒〕（経営者）	・今後、まん延防止等重点措置等がないという前提であれば、徐々に持ち直すと予想している。しかし、欧米のような政府や自治体の新型コロナウイルスに対する明確な対応や指針がなければ変わらないとみている。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔靴〕（従業員）	・依然として回復の兆しがみえない。3回目のワクチン接種と小児ワクチン接種の効果に期待している。
<input type="checkbox"/>	高級レストラン（スタッフ）	・電力不足が懸念されている。
<input type="checkbox"/>	観光型ホテル（スタッフ）	・物価高騰による影響は少しずつだが出てくるとみている。
<input type="checkbox"/>	観光型旅館（スタッフ）	・新型コロナウイルス感染症に加え、ウクライナ情勢の影響が大きい。身の回りの物価が上がり、旅行に使う余裕がないという状況下になる可能性も考える。いずれにせよ終息を待ちたい。
<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	・3月16日の地震の影響で、人の動きが変わっている。
<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	・庶民を取り巻く状況は悪い条件だけがそろっているが、そのなかでも我々の生活が上向きになるよう皆努力をしているので、そうなるよう期待している。
<input type="checkbox"/>	通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大が続き、過去最高の感染者数を更新しているため、契約訪問営業にキャンセル等が出ている。また、飲食店などの店舗の休業が続いているため、契約者の解約も増えている。今後の収束状況によるが、新生活応援キャンペーン等の加入促進活動がしばらく実施できないので、加入者数の増加は期待できない。
<input type="checkbox"/>	通信会社（営業担当）	・景気が良くなる動きが見えない。
<input type="checkbox"/>	遊園地（経営者）	・新型コロナウイルスに対する心理的な影響はともかく、ウクライナ情勢の影響、諸物価の上昇が懸念され、景気の好転は難しいとみている。
<input type="checkbox"/>	美容室（経営者）	・常連客が決まっているので、特に変わらない。
<input type="checkbox"/>	設計事務所（経営者）	・全体的な景気は依然回復基調がみられない。
<input type="checkbox"/>	住宅販売会社（経営者）	・建て替えを考えていた高齢の客が、減額したリフォームに切り替えている。

□	その他住宅〔リフォーム〕（従業員）	・リフォームは屋外の工事が増え、住宅設備機器はエアコンを早めに交換する動きが増えると予想している。
□	その他住宅〔住宅展示場運営会社〕（従業員）	・3回目のワクチン接種と新規感染者数の減少に時間が掛かるとみている。
▲	商店街（代表者）	・コロナ禍もずるずると続きそうであり、消費が増える感じはない。また、ロシアのウクライナ侵攻などによる経済的な影響が2～3か月先にはいろいろと出てくるとみられる。景気が良くなることはまずない。
▲	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの感染状況の収束がみえないなか、商品の一般的な値上がりやロシアのウクライナ侵攻等、経済不安が続いており、景気に明るい兆しがみえない。
▲	商店街（代表者）	・ウクライナ情勢、円安による物価高騰の影響がある。
▲	スーパー（経営者）	・4月はロシアのウクライナ侵攻の経済への影響が一段と大きくなってくとみている。小麦や原油等の輸入価格は上昇し、円安も加わり、輸入価格の上昇は抑えられず、商品の販売価格は更に上がるものとみられる。労働単価の上昇が少しあっても、原材料の価格高騰で諸経費が上がるため、家計の可処分所得は下がり、買上点数も減ると危惧している。消費は良くない傾向が続くとみている。
▲	スーパー（経営者）	・様々な物価が上がっており、客はますます価格の安い店に流れるとみている。メーカーのような上流ではインフレ、小売のような下流ではデフレ傾向が強くなるとみられ、スタグフレーションが懸念される。
▲	スーパー（店長）	・電気、ガスの光熱費の上昇が企業収益を圧迫すると予測している。収益圧迫の影響で景況感はやや下向き傾向になるとみている。
▲	スーパー（営業担当）	・海外情勢の不安から値上げに対する防衛策として、また、地震による防災意識の高まりにより、節約志向が強くなるとみている。
▲	コンビニ（経営者）	・まん延防止等重点措置が解除になったが、物価が上がっているので、来客数は何とか横ばいでいってほしい。
▲	コンビニ（経営者）	・食品の価格上昇で、多少買い控えが発生するとみている。売上は伸びずに原価が上昇するので、利益が減少して厳しくなる。
▲	コンビニ（エリア担当）	・新生活需要時期で、本来は消費意識は伸長する時期であるが鈍化傾向にある。新型コロナウイルスと地震により東北の景気は厳しい。4月末からの連休でどれだけ客足が戻せるかで夏までの景気が決まってくるとみている。
▲	コンビニ（店長）	・世界情勢が不安定であるため、様々な面で経済が悪化することが予想される。
▲	家電量販店（店長）	・客の身の回りの環境において、世界情勢や物価上昇など将来に向かって不安な要因が増えてきているため、客の購買意欲がやや低くなっている。今後、更に悪くなるとみている。
▲	乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルス感染は落ち着きつつあるが、依然として各方面に影響を及ぼしている。また、ウクライナ情勢は収束の気配がみえない。現状より悪くなる条件がそろっている。
▲	乗用車販売店（従業員）	・半導体不足はしばらく続くということなので、直近の景気は変わらないとみている。
▲	住関連専門店（経営者）	・新型コロナウイルス感染症は依然収束しないことに加え、ガソリンや食品等の価格高騰により、耐久消費財への出費はかなり抑えられることが考えられるため、景気の上昇は見込めない。
▲	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・今後の世界情勢の動向によるが、販売価格は上昇したままの状況が続くとみられ、回復は見込めない。
▲	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・春～夏にかけて灯油の販売量が減ってくる。給油所部門もガソリン価格の高騰で販売が減ってくるとみている。
▲	高級レストラン（経営者）	・地震の影響や、果たして新型コロナウイルス感染症は終息に向かうのかなどの懸念があり、先が見えない。
▲	通信会社（営業担当）	・今年に入り、原油高に加え各種物価が値上がりしている。一部企業ではベースアップが見込まれるが、政府が掲げるような賃上げにはなっておらず全体的な底上げには程遠い。値上げに伴い従来よりも消費が冷え込み、景気は悪くなるとみている。

	▲	通信会社（営業担当）	・ロシアのウクライナ侵攻により、更なる景気の悪化が予想される。
	▲	通信会社（営業担当）	・当面、電気、ガソリンの価格高騰は変わらないとみている。
	▲	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・現状のままで迎える転勤新学期シーズン、G o T oキャンペーン復活、大型連休に不安が募る。
	×	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・これから暖かくなり人が多く集まる機会がたくさんあるので、新型コロナウイルス感染は下火にならず、現状維持かもっと多くなるとみている。また、物価の上昇がますますひどくなり経済も落ち込むので、状況は悪くなる一方である。
	×	スーパー（経営者）	・ウクライナ情勢による原油高、さらには食料品価格の上昇が今後も続き、客のマインドは更に節約志向に入る。このインフレ状況を自分の可処分所得で賄っていくことが非常に厳しい状況になってきている。
	×	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で集客率がなかなか上がってこないの、これからもっと悪くなっていくとみている。
	×	衣料品専門店（店長）	・ロシアのウクライナ侵攻による世界制裁の影響で物価の上昇が予想され、消費は冷え込むとみている。
	×	一般レストラン（経営者）	・新シーズンが動き出すために必要な部分は一時的に景気が良くなるが、世の中全体の景気が良くなるには材料不足である。また、ここに来て様々な要因により生活必需品の価格も上がり出している。根本的な要因を再度見直して国を立て直してもらわなければ、一般消費の活性化は見込めない。
	×	通信会社（営業担当）	・メーカーで部品調達ができないことにより生産力が鈍化し製品化ができず、売上や利益に打撃を受ける。失業率も上昇し、税金を投入しても将来的に景気が悪くなる。先行きは不透明である。
企業 動向 関連  (東北)	◎	食料品製造業（製造担当）	・まん延防止等重点措置の解除や交通網の復旧に加え、ゴールデンウィークがあることから、今まで抑えられていた分、人流が活発になると予想される。
	◎	建設業（企画担当）	・仕事で接している客先の動向等により、良くなるとみている。
	◎	その他非製造業〔飲食料品卸売業〕（経営者）	・新型コロナウイルス感染症に関する規制が緩和され、また新幹線が復旧することで県内の交流人口の増加が見込める。
	○	食料品製造業（経営者）	・新幹線の再開やG o T oキャンペーンの開始により、状況が良くなることが期待できる。
	○	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が収束するのを期待したい。また、新規事業の立ち上げを予定している。
	○	金属製品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスやウクライナ問題などの不安要素はあるものの、受注予測としては上向きである。
	○	輸送用機械器具製造業（経営者）	・客先の新年度の予算取り情報からすると、前年度よりは活発化する見込みの企業が出てきており、4月以降随時動いてくることが見込まれる。
	○	広告業協会（役員）	・新型コロナウイルス第6波が緩やかに収束に向かい、イベントの収容人数制限が完全に撤廃されれば、広告業界の業績回復には大きな一歩となる。
	○	公認会計士	・全国的に新型コロナウイルス新規感染者数が落ち着いてきているので、小売、サービス、飲食業に消費者が戻りつつある。製造業関係は半導体不足の影響で不安があるが、建設関係がこのまま一定の好調を維持すれば、全体としては景気はやや良くなるとみている。
	□	建設業（従業員）	・年度をまたいで大型の民間設備投資が続く見通しである。
	□	輸送業（従業員）	・東北新幹線連休に伴う特需がみられるが一時的であり、復旧後は従前の厳しい状況になると予想する。
	□	通信業（営業担当）	・今後も気を抜くことなく、新型コロナウイルス感染症対策に配慮しながら営業努力を継続していくのみである。
	□	金融業（広報担当）	・半導体不足や電子部品、鋼材、建築資材などの価格高騰は継続が予想されている。コロナ禍や地政学リスク顕在化の影響から小売商材価格も上昇中のため、個人消費の回復も見込みにくい。
	□	経営コンサルタント	・政治経済のグローバルな安定が見通せない限り、景況悪化傾向に変化はないとみている。
□	司法書士	・不動産登記申請件数は前年比4%の増加であるが、住宅新築件数の減少傾向が継続している。	

	□	その他企業 [企画業] (経営者)	・観光シーズン前という季節要因からの観光客の増加はまだ望めない。また、地震への警戒から観光客の足が当地に向きにくくなっていることが考えられる。
	□	その他企業 [協同組合] (職員)	・見積案件及び受注実績は微増から増加傾向にあるものの、原材料を始めとした調達コストの急騰により収益はますます厳しくなる。今後のインフレ、供給制約などによりこの先の動向は不透明感が増している。
	▲	農林水産業 (従業者)	・農作業の春の生産資材の値上がりが心配である。また、果物の開花が前年よりも1週間くらい遅れる予想なので、お盆前のもの収穫期の遅れも心配である。
	▲	食料品製造業 (営業担当)	・販売量の5～10%減少は当面続くとみている。さらに、原材料等のコスト高による利益減少が顕著になっており、やや悪くなると見込んでいる。
	▲	出版・印刷・同関連産業 (経営者)	・年度末という特殊要因はあるものの、原材料価格の上昇、燃料費の高騰など仕入原価の増加により粗利幅が縮小している。販売価格への転嫁を図るべく営業強化しているものの、交渉難航先が多く、他社への乗換え打診など競合が激化している。景気回復は国の政策次第である。
	▲	窯業・土石製品製造業 (役員)	・ロシアによるウクライナ侵攻の影響や国内での各原材料、生活用品の値上げに賃金が全くついていかず、業績も生活も良くなる兆しがみえない。
	▲	電気機械器具製造業 (企画担当)	・ロシアのウクライナ侵攻による様々な経済制裁の影響が、今後徐々に電子部品事業にマイナスに働くと考えられる。
	▲	電気機械器具製造業 (営業担当)	・既設納入メーカーへの特命発注案件が、軒並み競争発注に移行している。
	▲	建設業 (従業員)	・原油価格の高騰が続く間は、原材料の価格が高止まりすると見込んでいる。
	▲	輸送業 (経営者)	・3月に入りウクライナ情勢が悪化するにつれ、原油の取引価格が更に高騰している。加えて円安が進んでおり、業界としては自助努力の域をとくに超えている。また、全体的に物の動きも良くない。景気動向については悲観の見方をせざるを得ない。
	▲	通信業 (営業担当)	・半導体の影響が長引いているため、需要に対して商品の在庫がなく、提供できない状態が続いている。
	▲	広告代理店 (経営者)	・ロシアのウクライナ侵攻が長期化し、原材料価格の高騰、物価の上昇などで日本企業の業績が悪化することを懸念している。
	▲	コピーサービス業 (従業員)	・主力商品であるIT関連商材の納期が見通せず、厳しい状況が続いている。この先も厳しい状況は続く見通しである。
	×	農林水産業 (従業者)	・ロシアのウクライナ侵攻で、燃料価格や農業資材価格は今後も高騰する状態が続くとみている。
	×	その他非製造業 [飲食料 品卸売業] (経営者)	・ウクライナとロシアの戦争が世界全体の不景気の要因になっている。油、原料、資材等、全ての値上がりに結び付いている。戦争が終わったからといって元の状況に戻ることは考えられないため、販売は非常に慎重になって、購買力も落ちると予想している。1～2年は元に戻ることはなく、不景気状態が続くとみている。
雇用 関連 (東北)	◎	*	*
	○	人材派遣会社 (社員)	・求人数と求職者数の両方が増加している。今後も当面はこの局面は継続するものと捉えている。
	○	アウトソーシング企業 (社員)	・新型コロナウイルスの感染が落ち着きつつあるので期待したい。
	○	職業安定所 (職員)	・洋上発電工事が始まり作業員の食事や宿泊先の需要があるため、飲食店や宿泊施設への新型コロナウイルスの影響は引き続き最小限に抑えられている。また、大型工場の進出が決定している。
	○	職業安定所 (職員)	・新規求人数、有効求人数共に、前年9月以降6か月連続で前年同月を上回っており、今後しばらくはこの傾向は続くとみている。
	○	民間職業紹介機関 (職員)	・3月16日の地震の影響も少なからずあるが、企業からは今後求人数が戻ってくる見込みがあるとの情報も入っている。
	□	人材派遣会社 (社員)	・ウクライナ情勢を含めて先行き不透明であるため、3月末の退職の補充はあるものの、新しく人を採用して事業を拡大するという動きは一旦様子見の動きが多い。特に製造業は非常に先行きが不透明なので、人の採用について一旦保留にしている企業が多いと認識している。

□	人材派遣会社（社員）	・良い意味でも悪い意味でも余り大きな変化がみられない状況になっている。
□	人材派遣会社（社員）	・求職者の動き、求人の動きに余り変化がみられない。
□	人材派遣会社（社員）	・ロシアのウクライナ侵攻や東北の地震、新型コロナウイルスの感染状況の収束鈍化などにより先行き不透明になっている。原油高がこれ以上進行するようであれば景気下振れもあり得る。
□	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・新型コロナウイルスの影響は徐々に収まってくるとみているが、世界情勢不安でしばらくは景気回復は難しい。
□	学校〔専門学校〕	・全国的な新型コロナウイルス新規感染者数の推移が読みきれない。
▲	人材派遣会社（社員）	・世界情勢、物価上昇などの影響がある。
▲	新聞社〔求人広告〕（経営者）	・コロナ禍が収まる一方で、ロシアのウクライナ侵攻の影響が深刻化するおそれがある。
▲	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・新型コロナウイルスの感染状況の収束と新幹線復旧が見込まれる4月末までは悪化が続く。ウクライナ情勢まで考えると物価の上昇も予想され、景気が良くなる要素が見当たらない。
▲	職業安定所（職員）	・ロシアによるウクライナ侵攻の様々な影響が各産業に出てくるとみている。
▲	職業安定所（職員）	・雇用維持政策がどこまで続けられるのかが不透明であり、終了した場合に倒産・解雇となるような事業所が増加してしまう可能性がある。
×	—	—